

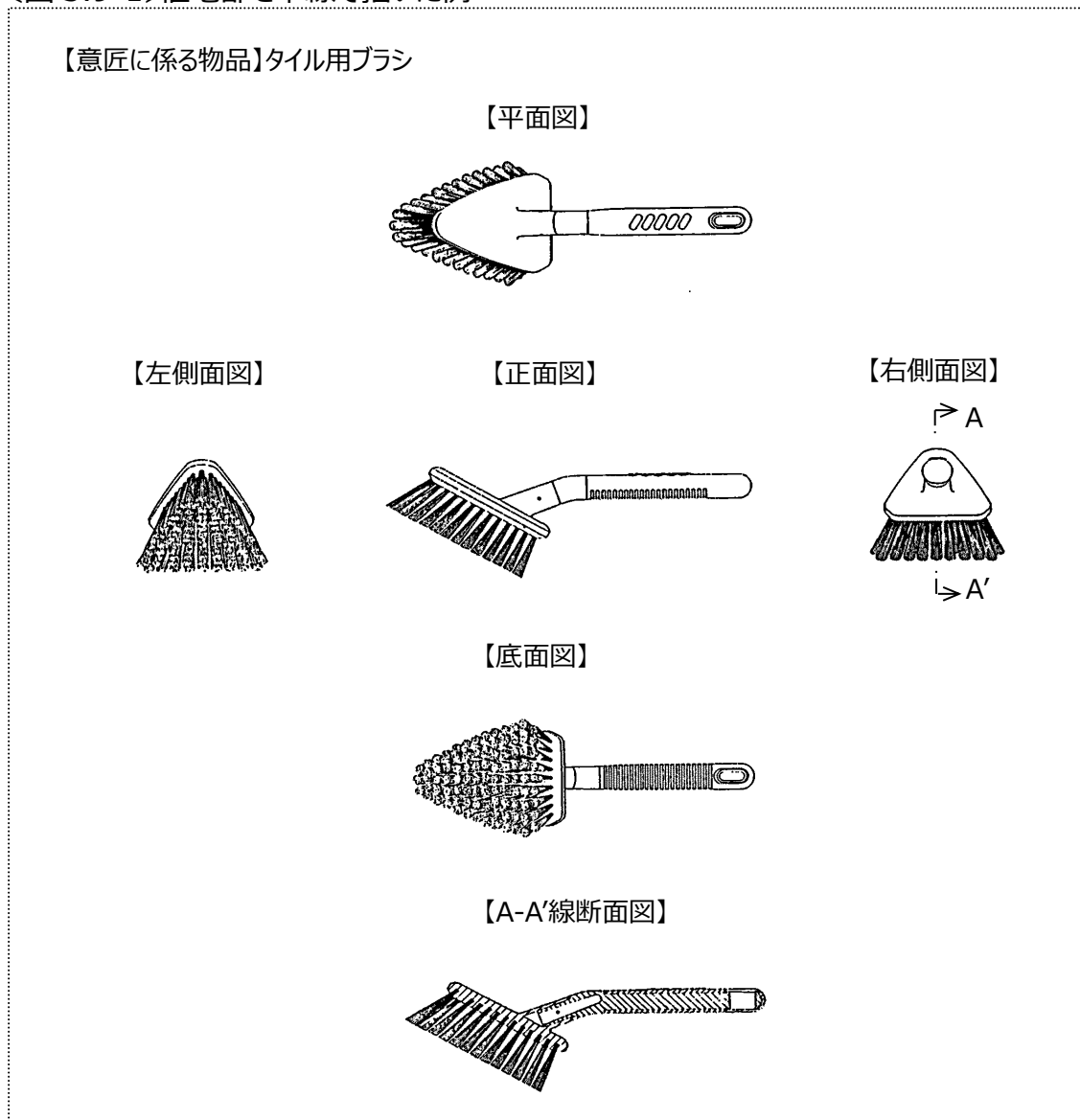
9. 植毛部、網地部等を有するものの場合

ブラシの植毛部や細かい網地部のように作図上厳密に表現することが困難で、かつ、意匠の特定において厳密に描く必要性の少ない場合の図の描き方については、慣用的な特殊な描き方としています。

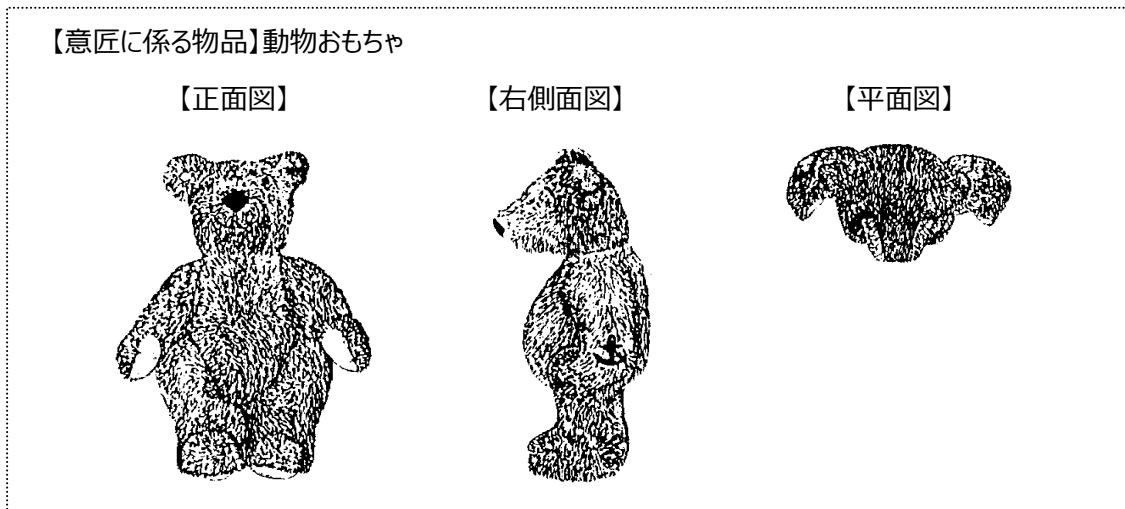
9.1 植毛部の場合

植毛部は、毛の一本一本についてその太さを二本線で表現することは不可能ですから単線で表現することもやむを得ないとしています。また、本数については厳密な同一性を保つ必要はなく、各図をできるだけ一致させるように描きます。

〔図 3.9-1〕植毛部を単線で描いた例



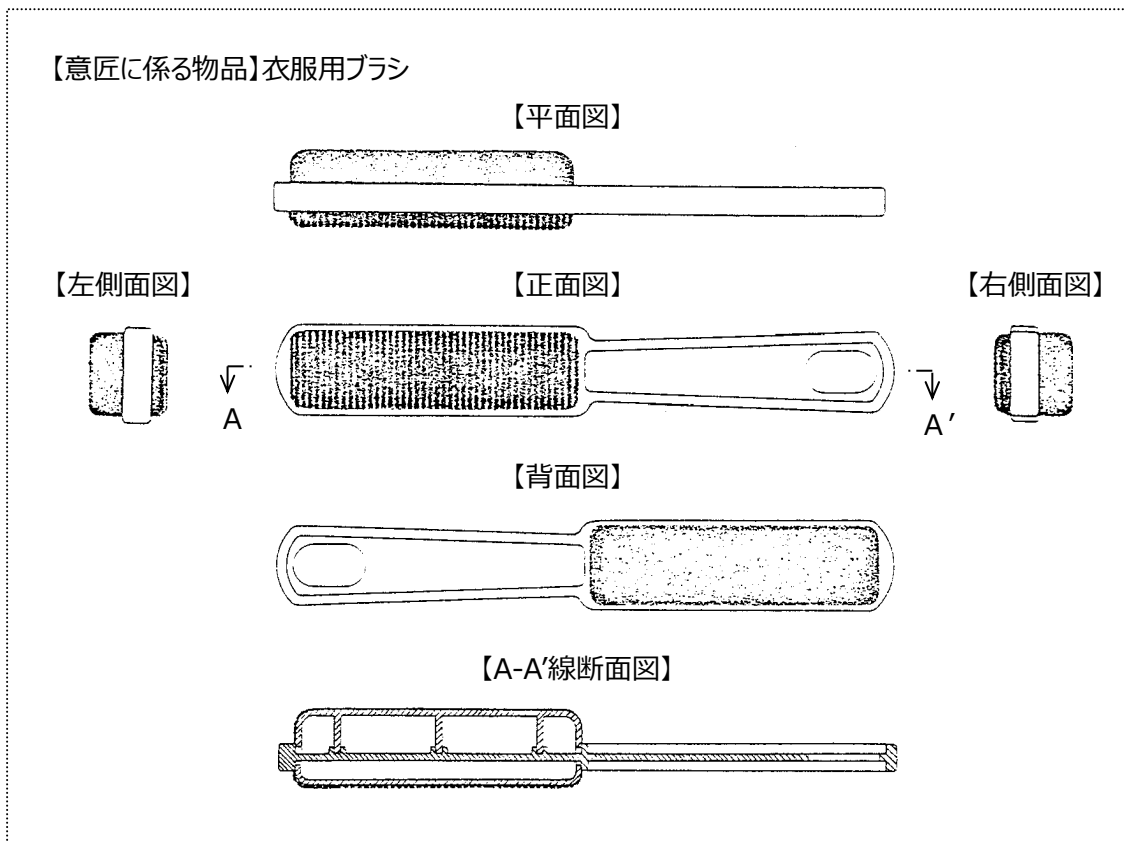
〔図 3.9-2〕植毛部を単線で概略的に描いた例



9.2 起毛した布地やスポンジなどの材質の場合

起毛した布地やスポンジなどの材質は、それらしい表現とし、各図をできるだけ一致させるように描きます。

〔図 3.9-3〕起毛部を概略的に描いた例



〔図 3.9-4〕金属部を概略的に描いた例



〔図 3.9-5〕スポンジ部を概略的に描いた例



9.3 一般的な平織の細かい網地の場合

一般的な平織の細かい網地を使用したもので、作図上網糸の一本一本についてその太さを二本線で表現することが困難な場合には、次の方法で描きます。

①網糸を単線で表します。

②本数については厳密な同一性を保つ必要はなく、各図をできるだけ一致させるように描きます。

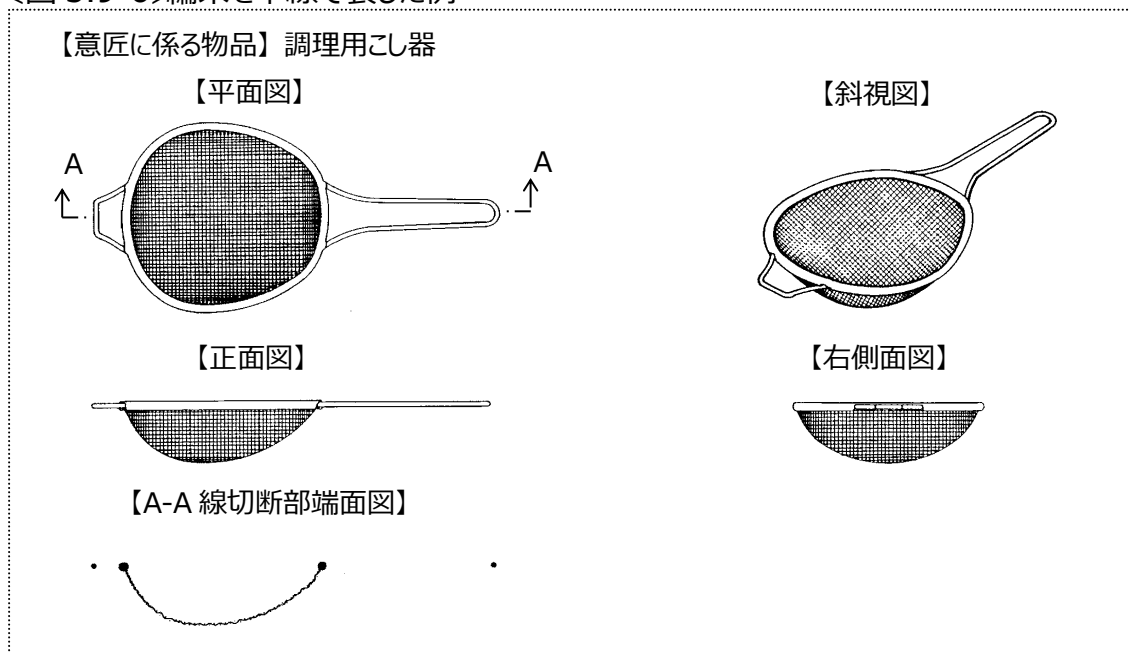
③網地部を含む【断面図】や【切断部端面図】を描く場合は、

a) 【切断部端面図】に編み込みの状態を表す。この方法では6面図と【端面図】で網地部の形状が一致しませんが、網の部分がかどこであるかを明確に表現することができます。

b) 断面を板状なものとして簡略的に表す。この方法は、物品名や6面図等からどの部分が網地かが分かり、網地の態様を具体的に表す必要のない場合に限られます。

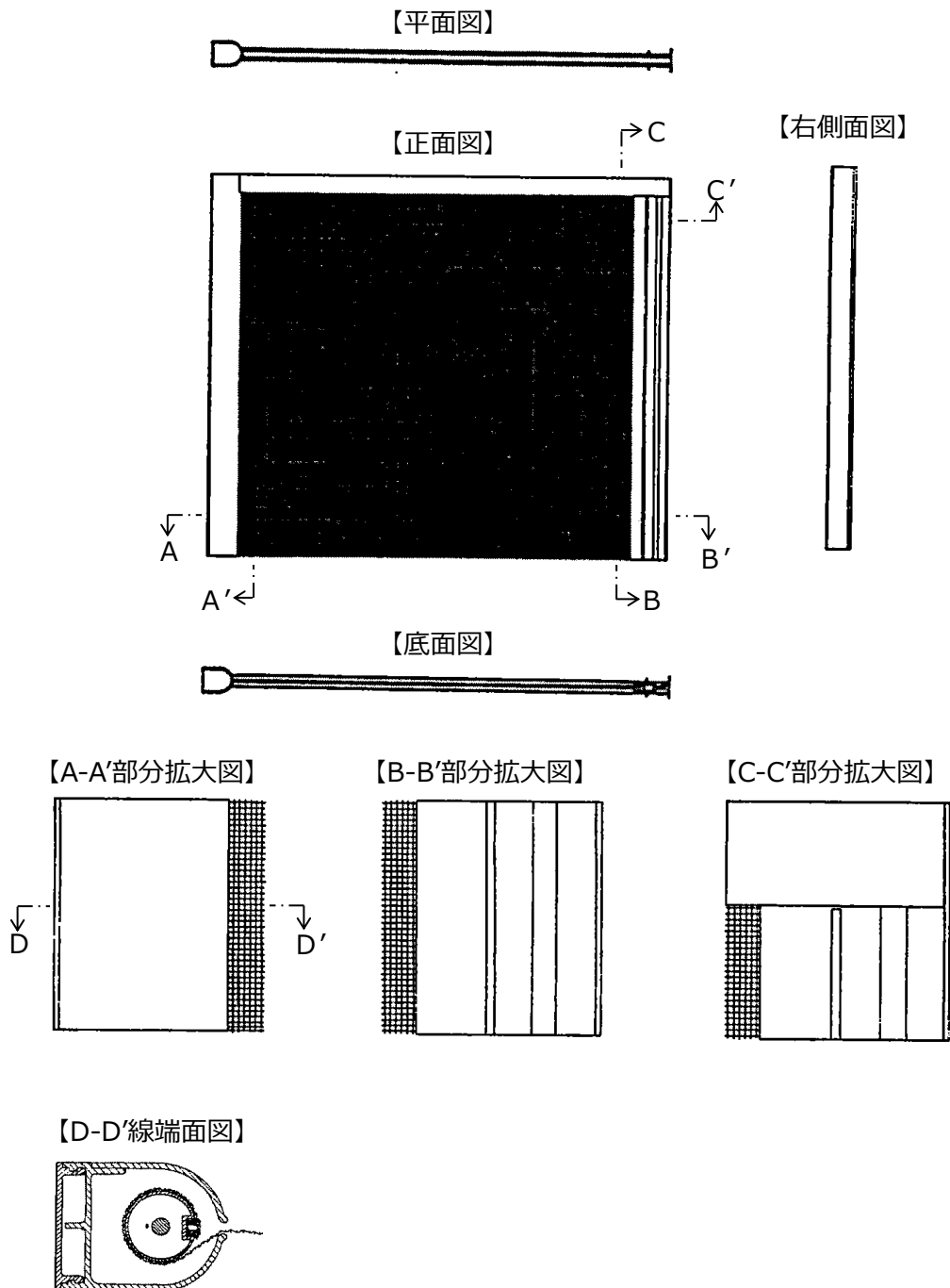
ただし、物品分野により表現方法が異なる場合があります。また、網地の構成が一般的でないものや網地の形状等そのものが重要な場合は、これらの方法により作図することはできません。

〔図 3.9-6〕編糸を単線で表した例



〔図 3.9-7〕拡大図で表した例

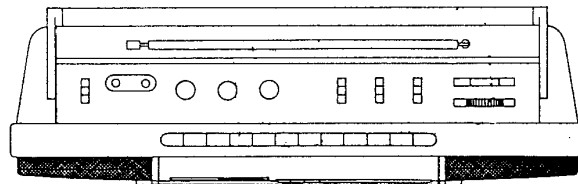
【意匠に係る物品】網戸



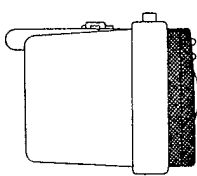
〔図 3.9-8〕断面図で表した例

【意匠に係る物品】ラジオ付きテープレコーダー

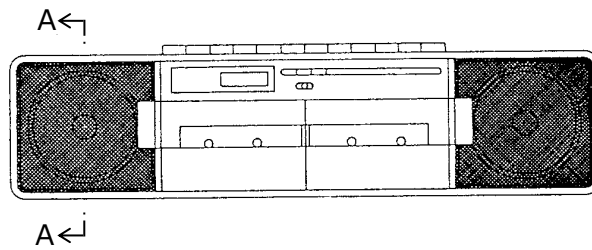
【平面図】



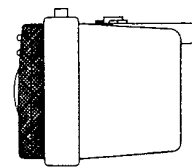
【左側面図】



【正面図】



【右側面図】



【内部機構を省略した A-A'線拡大断面図】

